

組織目標評価報告書（平成27年度）

部局名：

情報統括センター

部長名：

谷口 秀夫

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	
自己評価	
①-1 目標	<p>①情報統括センター教員が担当する教養教育科目は、前年より2コマ増やし、一人当たり3.5コマを担当した。</p> <p>②教育におけるICT環境充実のため、教育・研究支援情報システムで、1)仮想PC環境(学内のどこからでもICTサービスが利用できる環境)、2)PC、タブレット、スマートフォン等を活用した教室環境(アクティブラーニング環境)、3)新統合認証システム(サービスの多様化と利便性の向上のための環境)の導入を検討し、4月稼働に向けての準備を行った。また、出席管理システムを構築し、学生証、メール、WEB等での出席情報収集の環境を整備した。</p> <p>③平成28年の60分授業に対応するため、「日経パソコンEdu」と共同で作成した教科書『学生のための「情報」基礎』の改訂を行い、教育の質向上のための取組を実施した。また、平成28年度より全学必修科目となる「情報処理入門1」の実施準備を主体的に進めた。</p>
<p>①担当するコマ数を増やすとともに、学生の情報リテラシー能力の向上のための取組を行う。</p> <p>②教育におけるICT環境を更に充実させるため、教育支援情報システムの更新に向けての検討を行う。</p>	
①-2 目標とする(重要視する)客観的指標	<p>①情報統括センター業務に関連する研究を推進する。</p> <p>②研究におけるICT環境を更に充実させるため、研究支援情報システムの更新に向けての検討を行う。</p>
<p>担当コマ数</p> <p>ICT機器を活用した講義のコマ数</p>	
②研究領域	
自己評価	
②-1 目標	<p>①科研費の採択数は継続も含めて2件、論文発表数は、4件であった。</p> <p>②研究におけるICT環境充実のため、教育・研究支援情報システムの導入を検討し、4月稼働に向けての準備を行った。</p> <p>③教員活動評価データ入力への支援を行い、蓄積データ(論文情報、外部資金獲得状況、授業情報等)を大学情報データベースに反映し、研究情報の公開や情報分析を支援し、岡山大学の研究の推進に寄与した。</p>
<p>①情報統括センター業務に関連する研究を推進する。</p> <p>②研究におけるICT環境を更に充実させるため、研究支援情報システムの更新に向けての検討を行う。</p>	
②-2 目標とする(重要視する)客観的指標	<p>①ICTに関する公開講座は、「パソコン活用の基礎講座」「情報セキュリティの基礎と情報モラル」の2講座を無料で開講し、73人が受講した。受講後のアンケートでは、回答者の9割が、「とても満足」「満足」と回答している。</p> <p>②国立大学法人等情報化連絡協議会の中国地区の副幹事校として、3月17日開催の地区会議の取りまとめを行った。</p>
<p>科研費の採択件数</p> <p>論文発表件数</p> <p>学会等活動件数</p>	
③社会貢献(診療を含む)領域	
自己評価	
③-1 目標	<p>①ICTに関する公開講座を実施するなど地域貢献を推進する。</p> <p>②副幹事校として中・四国地区国立大学法人等情報化連絡協議会の会議を開催</p>
<p>①ICTに関する公開講座を実施するなど地域貢献を推進する。</p> <p>②副幹事校として中・四国地区国立大学法人等情報化連絡協議会の会議を開催</p>	
③-2 目標とする(重要視する)客観的指標	<p>①学内情報環境の利便性及び安全性の向上では、1)無線LANのアクセスポイント数を150台増加、2)クラウドラーニングシステムによるオンデマンド環境の利用促進(説明会の開催2回、部局開催の各種セミナー等の収録25件、ストリーミング配信10件、動画コンテンツの作成環境の構築)を行った。</p> <p>②セキュリティポリシー遵守の施策では、1)標的型メール訓練を教職員全員(約5000名)に実施し、不審なメールの添付ファイルを開封した教職員(約10%)へ対応方法を指導、2)情報セキュリティ強化月間(7月)を設け、標的型メール訓練を含む7件の取組を実施、3)ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)の認証を更新(10月)(更新審査では、標的型メール訓練が「教職員の意識を高める良い取り組みである」グッドポイントとして高く評価された)、4)情報セキュリティ通報フォームを開設、5)グローバルIPを持つ機器のプライベートIP化の推進を実施した。情報セキュリティ向上を目指した教育では、1)e-Learningによるセキュリティ教育を実施、2)情報セキュリティセミナーを開催、3)情報セキュリティメールマガジンの配信を実施した。</p> <p>③岡山大学情報データベースでは、教職員活動情報や学生履修情報等、大学経営に必要な情報、教育の質保証に必要な情報を継続的に蓄積し、蓄積情報の最新化を進めた。情報分析支援のため、URA執務室に論文情報の提供、その他関連部署に38件のデータ提供を行い、蓄積データの利活用に貢献した。</p> <p>④グローバル化に対応するため、1)新統合認証システム画面を英語併記で準備、2)ウィルス対策ソフトやOfficeのインストール方法の英語版案内HPを作成した。</p> <p>⑤ヘルプデスクでは、学生サポーターを新規に2名採用し、ICTサービスへの細かい学生支援及び新しいICTサービスの検証と広報の拡充を行った。</p>
<p>公開講座の受講者数と評価内容</p>	
④センター業務	
自己評価	
④-1 目標	<p>①学内情報環境の利便性及び安定性の向上に努める。</p> <p>②岡山大学情報セキュリティポリシーの遵守を徹底する施策と、更なる情報セキュリティの向上を目的とした教育を実施する。</p> <p>③岡山大学情報データベースに様々なデータ(教育、研究、管理運営等)を蓄積するとともに、蓄積データの利活用に貢献する。</p> <p>④留学生の増加や、海外留学を支援するグローバル化に対応するため、ICT環境の整備やサービス内容の多言語化を行う。</p> <p>⑤ヘルプデスクの強化により、学生・教職員への支援を充実させる。</p>
<p>①学内情報環境の利便性及び安定性の向上に努める。</p> <p>②岡山大学情報セキュリティポリシーの遵守を徹底する施策と、更なる情報セキュリティの向上を目的とした教育を実施する。</p> <p>③岡山大学情報データベースに様々なデータ(教育、研究、管理運営等)を蓄積するとともに、蓄積データの利活用に貢献する。</p> <p>④留学生の増加や、海外留学を支援するグローバル化に対応するため、ICT環境の整備やサービス内容の多言語化を行う。</p> <p>⑤ヘルプデスクの強化により、学生・教職員への支援を充実させる。</p>	
④-2 目標とする(重要視する)客観的指標	<p>①学内情報環境の利便性及び安定性の向上に努める。</p> <p>②岡山大学情報セキュリティポリシーの遵守を徹底する施策と、更なる情報セキュリティの向上を目的とした教育を実施する。</p> <p>③岡山大学情報データベースに様々なデータ(教育、研究、管理運営等)を蓄積するとともに、蓄積データの利活用に貢献する。</p> <p>④留学生の増加や、海外留学を支援するグローバル化に対応するため、ICT環境の整備やサービス内容の多言語化を行う。</p> <p>⑤ヘルプデスクの強化により、学生・教職員への支援を充実させる。</p>
<p>セキュリティマネジメントシステムの認証更新</p> <p>セキュリティのe-Learningの受講率 目標値：前年度比増</p> <p>提供するサービスの多言語化</p> <p>ネットワーク、サービスの安全性</p> <p>セキュリティインシデント発生件数</p>	
【総括記述欄】	
<p>※全般的に今年度の組織目標を達成している。</p> <p>情報セキュリティに関しては、標的型メール訓練や訓練の結果を受けての「情報通報フォーム」の設置、メールマガジンの配信など昨年度を上回る内容となっている。また、教育・研究支援情報システムに情報セキュリティ機器を含めて導入するなどセキュリティ強化の準備をした。e-Learningによる情報セキュリティ教育については、受講率向上のため、内容を見直す必要があると考えている。</p>	